

都立大塚ろう学校放課後子供教室

■実施組織

NPO法人大塚クラブ 構成メンバー（学生・一般ボランティア、保護者、教員）

■プログラム内容

算数検定教室、漢字検定教室（検定のみ実施）

学習活動ダンボ、絵画造形教室、キッズ英語教室、サッカー教室

レククラブ（サッカー・ワークショップ）

人形劇ワークショップ（8/24）、サンサンカーニバル（夏祭り 9/6）

クリスマスファンパーティ（12/20）、プログラミング教室（秋開催、全3回予定）

■実施規模

年間：土曜日31回 平日・休日4回

■活動のPR

大塚クラブは、学校週5日制完全実施をきっかけに、保護者・教職員・学生ボランティアが中心となって平成13年度に活動を開始、平成17年度にNPO法人化しました。本年度で活動25周年を迎えます。

聴覚障害児の放課後対策推進のために私たちが考えたことは

1. 生活環境と背景（同年代・適正規模の仲間集団）
2. 言語の発達（コミュニケーションの質と量）
3. 社会性の発達（発達段階に応じた言語力）
4. ロールモデルとしての聴覚障害成人との触れあい
（ロールモデルの存在）
5. 学力の伸長（質の高いわかりやすい授業）
6. 遊びで育つ生きる力（雑学による知識・行動力）
7. 授業以外で学んだものは、間接的に授業を支える
（適切な知的好奇心への刺激）

提供するプログラムのすべては、この7つのいずれか又は複数を担保していて、これを元に評価改善を行います。大塚ろう学校在校生だけではなく、広く都立ろう学校、近県のろう学校から多様な子ども達が集まります。また、年間を通したボランティアに加え、外部からのゲストも積極的に受け入れて、参加者のモチベーションのアップ、子供たちのニーズの掘り起こしを行っています。本事業の対象ではありませんが、子供教室と同じ時間帯に、家族のための手話教室（パパ手話）、母親学級、ボランティア養成講座などを実施、子どもたちを支援する側の養成にも力を入れています。

